

自主防災組織活動補助業務〔予算額 7,494千円〕		市民安全部防災課 地域防災係(23-6896)
財源内訳	一般財源 7,494千円	

【事業概要】

地域防災力を向上させるため、自主防災組織による防災資機材の整備や防災倉庫の設置に対して補助を行います。令和8年度からは地域活動を促す支援制度を開始します。

拡充 自主防災組織活動費補助金



活用実績がない自主防災組織が活用しやすいように制度を改めました。地域での活動を促す支援も進めていきます。

補助対象事業	補助対象経費	補助率	補助上限額
防災用機械器具の購入及び防災設備の整備	(1)初期消火・救助・救護活動に関するもの AED(付属品含む) (2)ライフライン・給食・給水に関するもの 発電機、蓄電器、太陽光パネル、携帯トイレ、災害用組立 トイレ、トイレ用テント、パーテーション、段ボールベッ ド、コット、かまど、ハソリ、鍋、釜、給水用具、コンロ	1/3以内 ただし、過去に 活用実績のない 自主防災組織は 2/3以内	20万円
防災倉庫の設置	防災倉庫設置に要する経費	1/2以内	15万円
町防災マップの印刷、修正及び増刷	町防災マップの印刷、修正及び増刷に要する経費	1/2以内	5万円
地区防災計画書の印刷、修正及び増刷	地区防災計画書の印刷、修正及び増刷に要する経費	1/2以内	5万円
新規 組織運営	防災講座・研修会の開催に要する経費 防災訓練の実施に係る消耗品費	1/2以内	5万円

道路ストック点検修繕業務〔予算額 62,128千円〕

土木建設部道路維持課
工事2係(23-6233)

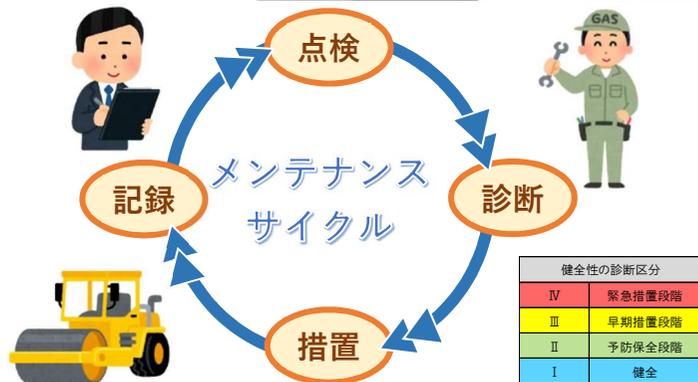
〔令和7年度12月補正に前倒した予算額 181,750千円〕

〔令和7年度 3月補正に前倒した予算額 62,000千円〕(合計予算額 305,878千円)

財源内訳 国庫支出金 5,050千円、市債 33,000千円、一般財源 24,078千円

事業概要

◆岡崎市が管理するトンネル、横断歩道橋、案内標識、車道舗装などの道路施設及び道路附属物について、メンテナンスサイクルを構築し、長寿命化を図ります。また、施設の利用状況等により撤去が可能と判断される施設については、撤去を推進しメンテナンス費用の縮減を図ります。

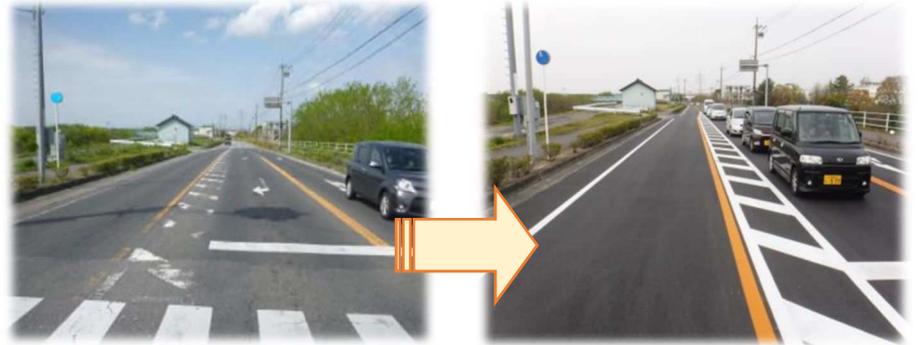


◆◆◆令和8年度の主な事業◆◆◆

(※令和7年度12月補正、3月補正に前倒した事業を含む)

- 修繕設計業務
 - ・舗装修繕設計業務 L ≒ 930m
 - ・大型カルバート修繕設計 N = 1箇所
- 修繕工事（舗装）
 - ・市道東山東河原線 L ≒ 240m
 - ・市道中央総合公園美術博物館線 L ≒ 230m
 - ・市道中央総合公園東公園線 L ≒ 130m
 - ・市道岡崎環状線（1-2） L ≒ 360m
 - ・市道高隆寺洞線 L ≒ 450m

舗装修繕（事例）



橋りょう耐震業務〔予算額 218,240千円〕

橋りょう長寿命化修繕業務〔予算額 183,886千円〕

若砂橋(砂川)整備業務〔予算額 121,000千円〕

土木建設部道路建設課
橋りょう係(23-6642)
土木建設部河川課
技術係(23-6543)

財源内訳 国庫支出金 125,992千円、県支出金 60,500千円 市債 213,000千円、一般財源 123,634千円

耐震補強

災害時に道路ネットワークが持つ役割

避難

輸送

復旧活動

を確保するため

橋脚の耐震補強を進めています。

橋脚を補強



長寿命化

老朽化による事故の発生リスクと維持管理費を軽減するため、定期点検と計画的な修繕を実施し、橋りょうの長寿命化を図っています。



点検状況

整備

河川改修に同調して橋の拡幅整備を実施することで、安全性・利便性の向上を図っています。

現在は若松町地内の「砂川」で事業を進めています。



砂川：若砂橋（施工中）

河川・排水路改修業務〔予算額 69,392千円〕 ※河川改修業務及び排水路改修業務合算

土木建設部河川課
技術係(23-6543)

財源内訳 県支出金 2,442千円、市債 14,000千円、一般財源 52,950千円

○ 台風や集中豪雨による浸水被害を軽減し、地域の排水能力・生活環境の向上を図るため河川や排水路等の整備を行います。

事業箇所



① 門立樋管



② 前田川支川



消防指令システム共同整備業務〔予算額 22千円〕

消防本部総務課
経理係 (21-9846)

財源内訳 分担金及び負担金 5千円、一般財源 17千円

【事業概要】

平成30年から運用を開始している岡崎・幸田消防指令センターのシステムを更新し、119番通報から災害現場への出動の迅速化や、現場に必要な情報の充実を図るとともに、システムの安定稼働を確保するため整備を行います。

消防指令システムの概要



◆総事業内容

- 令和7年度 システム調達支援業務
- 令和7～8年度 受託候補者選定委員会の設置・業務契約
- 令和8～9年度 システム整備・構築監理業務
(債務負担行為限度額 2,930,148千円)
- 令和10年度 新システム運用開始予定

令和10年4月 新システム運用開始予定



消防自動車等購入業務〔予算額 252,332千円〕

消防本部総務課
経理係 (21-9846)

財源内訳 県支出金 4,843千円、財産収入 3,053千円、市債 153,000千円、一般財源 91,436千円

複雑多様化する災害に対応するため、水槽付消防ポンプ自動車をはじめとする消防自動車等を更新し、安心・安全に暮らせる市民生活を支援します。



水槽付消防ポンプ自動車



消防広報車



小型動力ポンプ付積載車



救急自動車



消防活動二輪車



高度救命処置用資機材
(救急自動車の資機材)



資機材運搬車



小型動力ポンプ積載車



消防自動車等を更新

事業の概要

- 水槽付消防ポンプ自動車 1台
(債務負担行為 令和7年9月30日議決)
 - 救急自動車 2台
 - 高度救命処置用資機材 2組
 - 消防広報車 2台
 - 消防活動二輪車 3台
 - 資機材運搬車 1台
 - 小型動力ポンプ付積載車 2台
 - 小型動力ポンプ積載車 8台
- 以上の車両等を更新計画により更新配備します。



上下水道局経営管理課
経営1係(23-6353)

【水道事業】①水道管路更新・耐震化事業〔予算額 3,851,400千円〕

〔令和7年度3月補正に前倒した予算額 162,000千円〕（合計予算額 4,013,400千円）

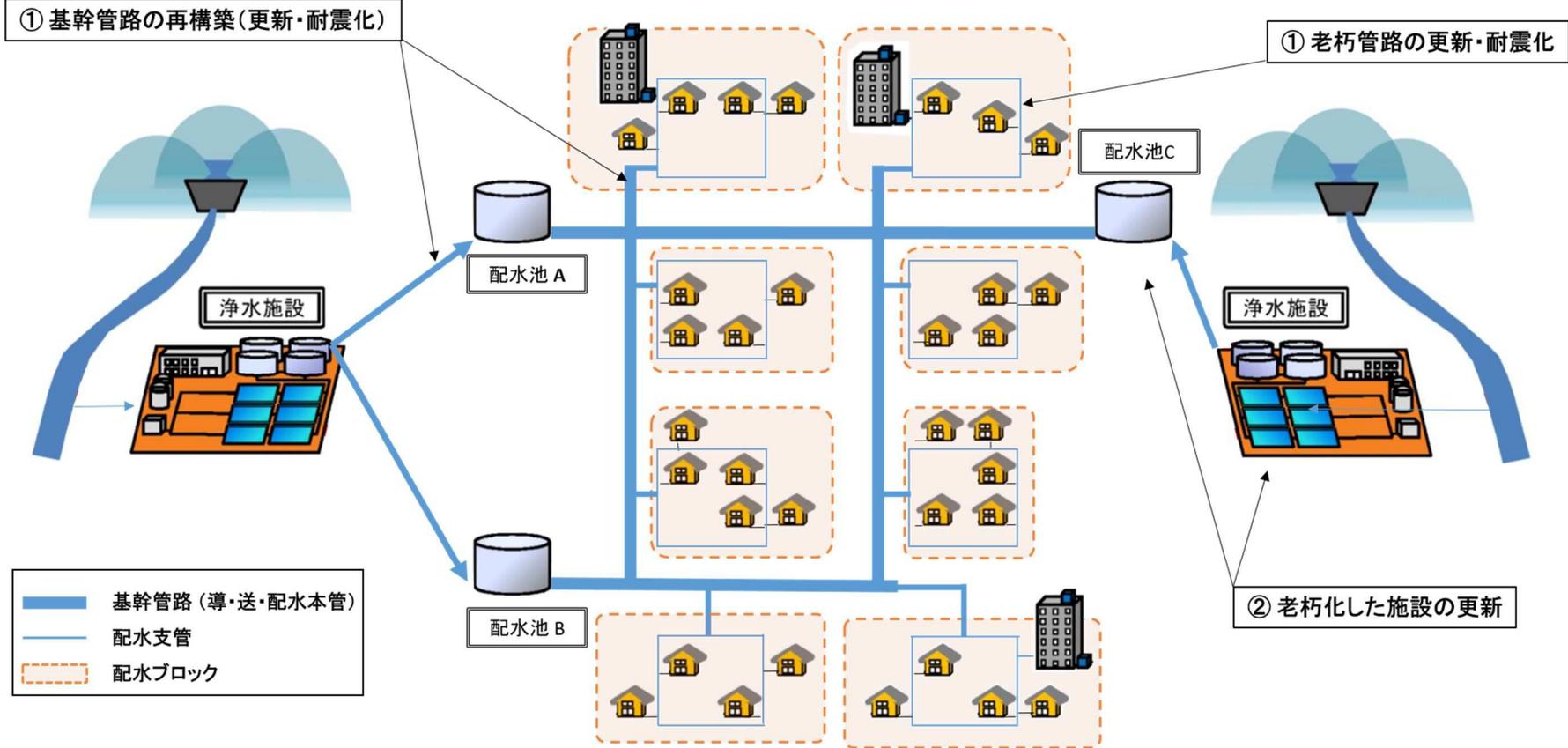
財源内訳 企業債 300,000千円、国庫補助金 52,875千円、他会計出資金 206,981千円、工事負担金 232,500千円、他会計負担金 56,826千円、自己財源 3,002,218千円

②水道施設更新事業〔予算額 312,697千円〕

〔令和7年度3月補正に前倒した予算額 669,785千円〕（合計予算額 982,482千円）

財源内訳 自己財源 312,697千円

○ 水道は、市民生活や社会経済活動に不可欠な重要なライフラインとなっています。平時はもちろんのこと、地震、台風等の自然災害や水質事故等の非常事態においても、被害影響の最小化や早期復旧、水供給の継続・補完が可能となるよう、基幹的な水道施設の安全性確保や基幹管路網の再構築及び配水区域のブロック化を進め、上水道全体の強靱化を図ってまいります。



①老朽化した水道管路の更新及び基幹管路網の再構築により強靱化を図ります。

◆主な事業内容

管路強靱化事業（更新・耐震・再構築）

◎業務（145,000 千円）

- ・管路強靱化測量設計業務（8 箇所）

◎工事（2,583,000 千円）

- ・管路強靱化工事（43 箇所）



耐震管とは、地震時に起きる地盤のひずみを継手が伸縮・屈曲する鎖構造管路により吸収し、管本体の損傷を防ぐものです。

②老朽化した水道施設及び設備を更新します。

◆主な事業内容

◎業務（36,169 千円）

- ・舞木ポンプ場ほか 1 施設電気設備実施設計業務

◎工事（265,415 千円）

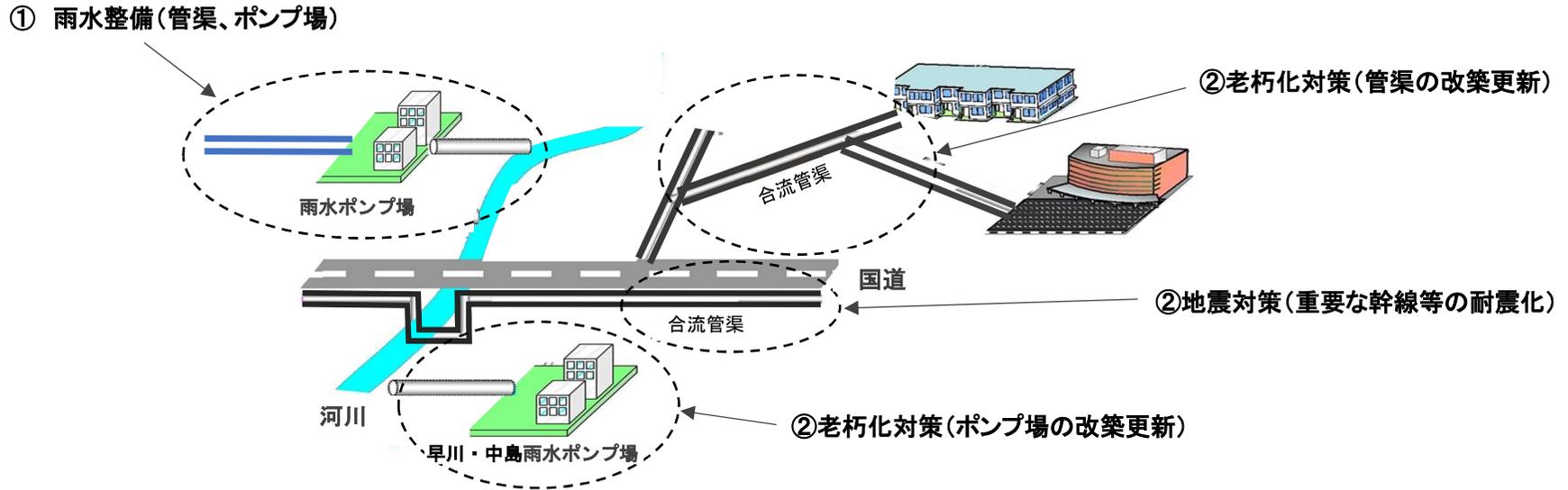
- ・大西配水場ほか 4 施設ポンプ設備更新工事
- ・蓬生ポンプ場圧力タンク更新工事
- ・滝尻加圧ポンプ場ほか 3 施設通信設備更新工事



大西配水場

【下水道事業】①雨水整備事業〔予算額 477,410千円〕		上下水道局経営管理課 経営2係(23-6858)
財源内訳	企業債 297,300千円、国県補助金 56,300千円、自己財源 123,810千円	
②地震対策及び老朽化対策事業〔予算額 2,269,271千円〕 〔令和7年度3月補正に前倒した予算額 298,000千円〕(合計予算額 2,567,271千円)		
財源内訳	企業債 1,399,900千円、国県補助金 734,932千円、負担金 1,863千円、自己財源 132,576千円	

○下水道は公衆衛生の向上、浸水の防除、公共用水域の水質向上を図るなど、市民生活に不可欠なライフラインです。そのため、暮らしを守る下水道として、集中豪雨等による浸水被害の軽減や地震対策及び老朽化対策による機能確保を図ってまいります。



①浸水被害の軽減を目指し下水道の整備を進めます。(477,410千円)

◆雨水整備事業（管渠）(477,410千円)

◎下水道管渠築造工事（105,000千円）φ600～1,100mm L=205m

◎下水道施設築造工事（140,000千円）雨水貯留排水ポンプ

②下水道の地震対策及び老朽化対策を進めます。(2,269,271千円)

※下水道総合地震対策計画に基づき、管渠の地震対策事業を実施します。

◆地震対策事業（管渠）(366,340千円)

◎重要な幹線等における管渠の耐震化工事（260,020千円）L=410m

※下水道ストックマネジメント計画に基づき、管渠及びポンプ場の老朽化対策（改築更新）事業を実施します。

◆改築更新事業（管渠）(1,099,140千円)

◎管渠更生工等による老朽管渠の改築工事（713,000千円）L=5,610m

◆改築更新事業（ポンプ場）(520,791千円)

◎早川雨水ポンプ場改築工事（ゲート設備）（156,726千円）【R7～R8年度】

◎早川雨水ポンプ場改築工事（機械設備・電気設備）（225,500千円）【R8～R10年度】

◆処理場改築事業（農業集落排水）(283,000千円)

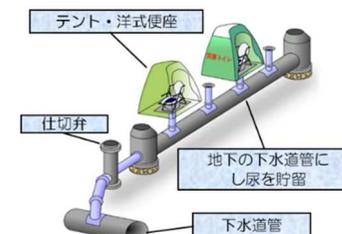
◎豊南処理場施設更新工事（100,050千円）

◎男川上処理場施設更新工事（51,050千円）

◎豊西処理場施設更新工事（78,550千円）

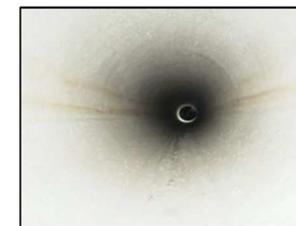
R7 補正予算対応 (82,000千円)

- ・耐震診断 L=30km
- ・災害対応トイレ



R7 補正予算対応 (199,000千円)

- ・管渠改築業務、工事



R7 補正予算対応 (17,000千円)

- ・ポンプ場施設改築業務、耐水化工事

